NISSAY ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート（2022年10月3日～10月7日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/9/30	先週末 2022/10/7	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	25,937.21	27,116.11	4.55 ↗
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,835.94	1,906.80	3.86 ↗
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	28,725.51	29,296.79	1.99 ↗
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	3,585.62	3,639.66	1.51 ↗
ナスダック総合指数	米国	10,575.62	10,652.40	0.73 ↗
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,318.20	3,375.46	1.73 ↗
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪	6,456.54	6,744.33	4.46 ↗
上海総合指数	中国	3,024.39	－	－
MSCI AC アジア（除く日本）※		738.74	753.08	1.94 ↗
東証ＲＥＩＴ指数	日本	1,945.25	1,942.00	▲ 0.17 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	689.80	663.73	▲ 3.78 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪	1,225.70	1,266.00	3.29 ↗
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		162.00	158.26	▲ 2.31 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.244	0.252	0.008 ↗
米国10年国債（%）	米国	3.829	3.881	0.053 ↗
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	2.108	2.194	0.086 ↗
英国10年国債（%）	英国	4.093	4.238	0.145 ↗
ドル/円	米国	144.74	145.25	0.35 ↗
ユーロ/円	ユーロ	141.88	141.59	▲ 0.20 ↘
英ポンド/円	英国	161.61	161.03	▲ 0.36 ↘
豪ドル/円	豪	92.65	92.56	▲ 0.10 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,306.70	2,356.75	2.17 ↗
ＷＴＩ原油先物（ドル）		79.49	92.64	16.54 ↗
ＣＲＢ指数		268.29	285.62	6.46 ↗

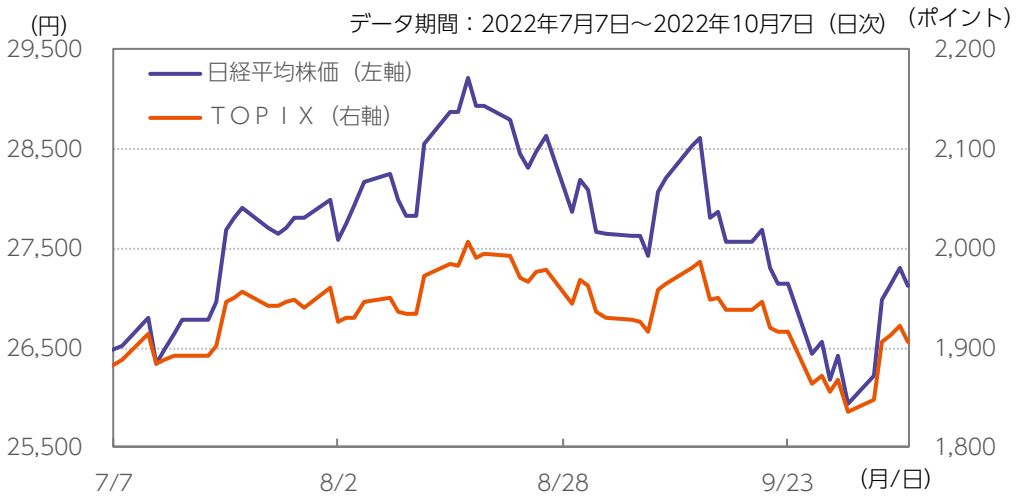
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊1 ▲はマイナスを表します。　＊2 中国は国慶節のため10月3日～10月7日まで休場

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で大幅に上昇しました。

前週の大幅下落の反動により買い戻しが進んだことや、米国をはじめとする世界の主要な中央銀行が利上げペースを緩めるとの見方が広がったことから、週初より4日連続で上昇し、5日（木）には9月22日以来2週間ぶりに27,000円を回復しました。4日間の上昇幅が1,300円超となったことから利益確定売りが出やすく、また、9月の米雇用統計の発表を控え持ち高調整目的の売りが優勢となり、週末は下落しました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。

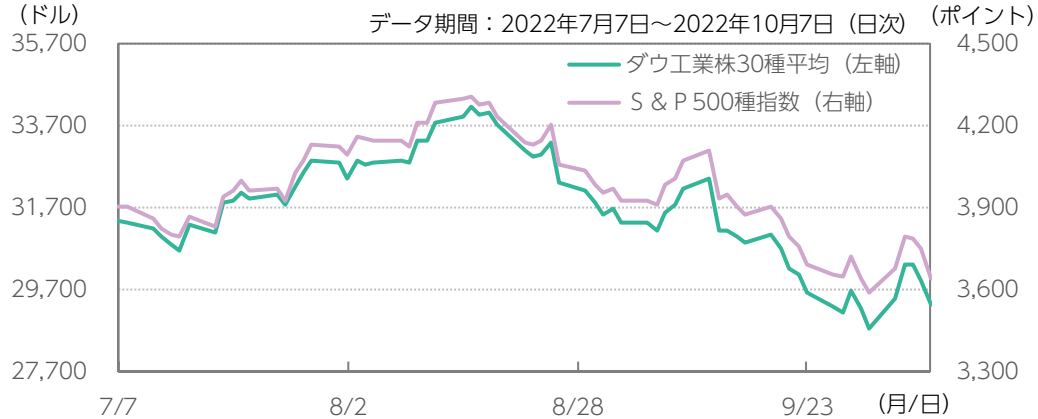
米サプライマネジメント協会（ISM）が発表した9月の製造業景況感指数が前月から大幅に低下し、米国の金融引き締めペースが緩和するとの見方から米長期金利が低下した流れを受け、国内金利も低下する場面もありました。しかし、日経平均株価の大幅上昇で、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となり（利回りは上昇）、週間では前週末比で横ばいとなりました。

3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。

軟調な米経済指標や豪州準備銀行が市場予想に反し利上げ幅を縮小したことから、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めペースが緩和するとの見方が広がり、週前半は上昇しました。その後は、9月の雇用統計の発表を前に、積極的な売買は手控えられたものの、失業率が市場予想以上に改善し、FRBによる積極的な利上げの継続が意識されると週末は下落しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

景気悪化懸念からFRBが金融引き締めペースを緩和するとの見方から米長期金利が低下し、日米金利差縮小を意識した円買い米ドル売りが進行したものの、週末にかけてFRB高官のタカ派（金融引き締め推進派）的な発言を受け再び米長期金利が上昇すると、円売り米ドル買いが進みました。

5）今週の見通しについて

先週の株式市場は、欧米をはじめとする世界の中央銀行が積極的な金融引き締めペースを緩和するとの見方が広がり、日米両市場ともに前週末比で上昇しました。

7日（金）に発表された9月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+26.3万人と市場予想（同+25.5万人）をやや上回りました。また、失業率は3.5％と、前月の3.7％から改善したことから、米労働市場の堅調さが改めて確認されました。FRBが11月１～2日の日程で開催する米連邦公開市場委員会（FOMC）でも大幅利上げをするとの見方が大勢を占めています。FRBは引き続き、経済指標を確認しながら、利上げ幅を決定することとなりそうです。

今週の株式市場は、9月FOMC議事要旨や米消費者物価指数の結果を見極めながら、慎重な値動きとなりそうです。FOMC議事要旨が、市場の想定以上にタカ派的な内容となった場合には、株式市場は下値を探る展開もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/